

部局名	健康福祉部	所属名	国保年金課	所属長名	三橋 正道	電 話	483-1151 内線3150
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	9131		事務事業名称		健康づくり推進事業					短縮コード		経常		臨時	9131	
予算区分	会計	10	国民健康保険事業特別会計		款	06	保健事業費		項	01	保健事業費		目	01	保健衛生普及費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他					根拠法令等		国民健康保険法第8 2条第1 項								
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																
国保加入者の健康の保持増進																
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測						総合計画の施策体系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして							
今後も高齢者の増加が見込まれる							大項目（節）	03	社会保障							
							中 項 目	01	国民健康保険							
							小項目（施策）	02	広報・保健事業の推進							
							細 項 目	02	予防活動の推進							
						実施計画の計画事業										
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		平成19年4月 ～ 平成20年3月		計画事業費		千円					

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）		国民健康保険加入者					
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）		※平成18年度に実際に行ったこと： 各地域での体操教室の開催					
		※平成19年度に計画していること： 国民健康保険加入者に広く健康増進を図る					
意図 （何を狙っているのか）		国民健康保険加入者の健康増進					
結果 （どんな結果に結びつけるのか）		国民健康保険加入者の健康管理及び事業の安定					
区 分			単位	1 7 年度	1 8 年度		1 9 年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	国民健康保険加入者	人		63, 401	62, 732	63, 205
	指標 2						
	指標 3						
活動指標	指標 1	開催回数	回		8	5	7
	指標 2						
	指標 3						
成果指標	指標 1	実際に開催した回数	回		8	6	7
	指標 2						
	指標 3						
上位成果指標	指標 1						
	指標 2						
	指標 3						

コード		9131	事務事業名称	健康づくり推進事業			所属名	国保年金課
			単位	１７年度	１８年度		１９年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円		999	999	0	
		県	千円		0	0	0	
		地方債	千円		0	0	0	
		一般財源	千円		0	0	0	
		その他	千円		0	0	315	
	主な事業費の内訳				報償費30,000円消耗品費39,986円印刷製本費291,900円委託料391,545円備品購入費245,196円	報償費30,000円消耗品費39,986円印刷製本費291,900円委託料391,545円備品購入費245,196円	報償費30,000円消耗本費134,000円備品購入費151,000円	
	人件費(B)			千円	0	87.1	174.2	
トータルコスト(A)+(B)			千円		0	1,086.1	1,173.2	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由					
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		医療費適正化の面からも予防医療という考えにつながる					
			☐ 結び付くが見直しの余地がある							
			☐ 結びつきが弱い・ない							
			☐ 評価対象外事項							
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		国民健康保険加入者全体への周知・普及という観点からするとまだと思われる					
			☒ 達成していない							
			☐ 評価対象外事項							
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		今後特定健診との兼ね合いも考慮して進めていく必要があるため、民営化になじまない。					
			☒ 可能性はない							
			☐ 評価対象外事項							
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		啓発等周知に力を入れる事により、変更なく結果に結びつく。					
			☐ 見直す必要がある							
☐ 評価対象外事項										
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		健康増進は予防医療となり医療費適正化につながるため、啓発・周知方法の強化により期待できる。					
			☐ 効率性向上の可能性はある							
			☒ 両方可能性はある							
			☐ 可能性がない							
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等		広報・パンフレットによる周知により、国民健康保険加入者の健康への意識を向上させ、医療費の増加を抑える。					
			☐ 臨時的任用職員等の活用							
			☐ I T化等業務プロセスの見直し							
			☐ 受益者負担の見直し							
			☐ 類似事業との統合・役割見直し		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)		
			☒ 上記以外の方法			2		実施主体 (所管部署)		
			⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☒ ある		日常生活の見直しが健康増進の第一歩であるという、国民健康保険加入者自身の意識の向上。			
	☐ ない									

コード	9131	事務事業名称	健康づくり推進事業			所属名	国保年金課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			国民健康保険加入者の健康に対する意識を向上させるための啓発・周知方法の強化を図る。		
		☐ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☒ その他						
☐ 廃止							
☐ 休止							
☐ 現状のまま継続							
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			今後も国民健康保険加入者の増加が見込まれるため
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☐	
			不 変	☐	☒	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
もっと啓発した方が良い	

所属長コメント	国民健康保険加入者の健康増進を図るため、健康づくり課と連携し事業を進めていく。	
評価調整委員会意見	☒ 改革改善して継続	費用対効果を検証し改革・改善を推進すべき。
	☒ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ 廃止		
☐ 休止		
☐ 現状のまま継続		